

第3章 障害福祉計画策定のための基礎調査結果

第1節 調査概要

1. 調査目的

「第4期昭島市障害福祉計画」の策定にあたって、障害のある方の生活状況やニーズ等を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるために実施しました。

2. 調査方法

- ・調査対象者：身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持しており、市内で在宅生活を送っている方2,000人（18歳以上の方については無作為抽出、18歳未満の方については全数）
- ・調査方法：郵送配布、郵送回収
- ・調査期間：平成25年11月13日～11月27日

3. 調査内容（項目）

| | | | |
|---------------|----|---------------------|-----|
| ①回答者、ご本人について | 5問 | ⑧外出について | 2問 |
| ②障害の状況について | 5問 | ⑨福祉サービスの利用について | 2問 |
| ③医療や介助の状況について | 6問 | ⑩権利擁護・社会参加・障害理解について | 5問 |
| ④相談や福祉情報について | 4問 | ⑪災害対策について | 3問 |
| ⑤日中活動や仕事について | 9問 | ⑫将来について | 2問 |
| ⑥保育・教育・療育について | 5問 | ⑬意見・要望など自由意見 | 1問 |
| ⑦住まいについて | 3問 | 合 計 | 52問 |

4. 回収結果

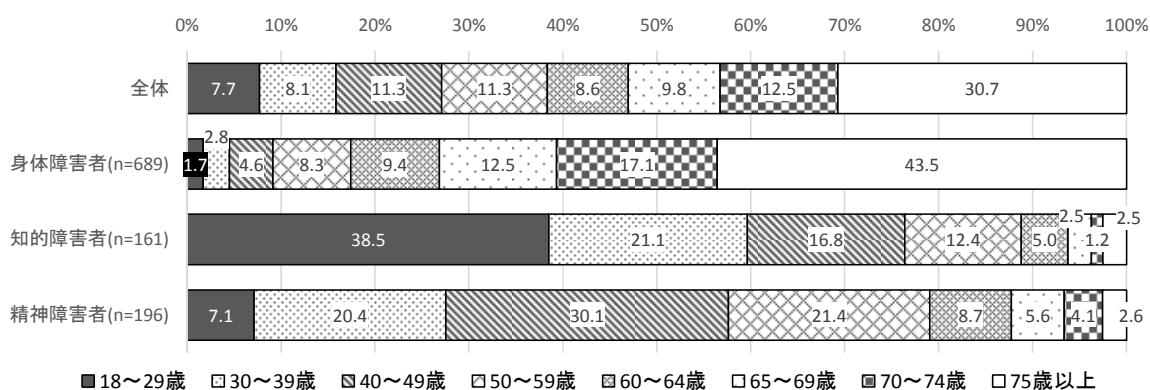
| 配布数 (A) | 有効回収数 (B) | 白票・無効票 (C) | 有効回収率 (B/A) |
|------------|--------------|---------------|----------------|
| 2,000 | 1,136 | 1 | 56.8% |

第2節 調査結果のまとめ

1. 本人の状況

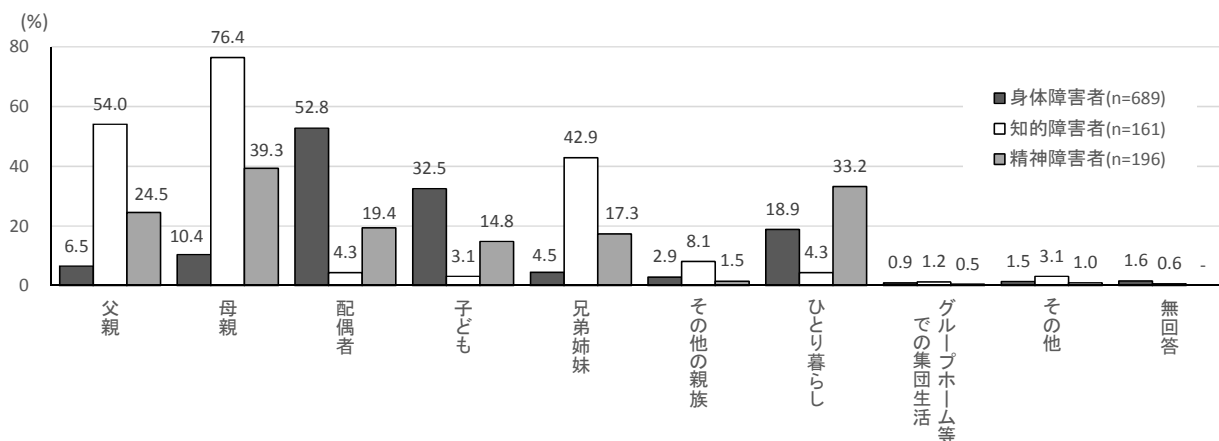
(1) 年齢

- ・身体障害者では「75歳以上」(43.5%)が最も高く、70歳以上でみると約6割を占めています。
- ・知的障害者では「18～29歳」(38.5%)が4割近くとなっています。
- ・精神障害者は「40～49歳」が30.1%で最も高く、次いで「50～59歳」21.4%、「30～39歳」20.4%となっています。



(2) 世帯構成

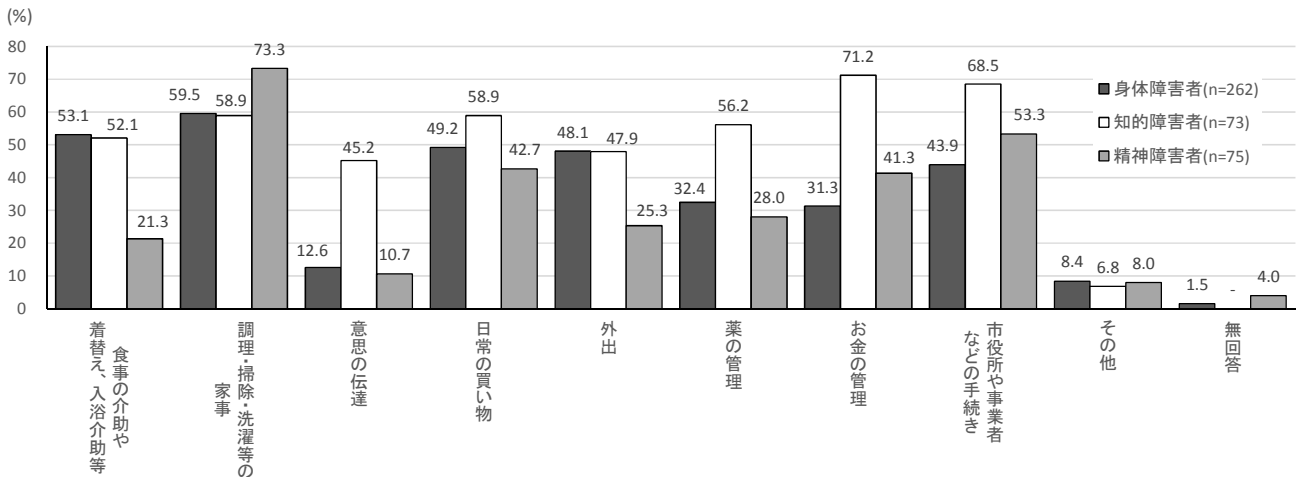
- ・身体障害者では「配偶者」(52.8%)が最も高く、次いで「子ども」(32.5%)となっています。「ひとり暮らし」(18.9%)も2割近くを占めています。
- ・知的障害者では「母親」(76.4%)が最も高く、次いで「父親」(54.0%)、「兄弟姉妹」(42.9%)と、家族の占める割合が高くなっています。
- ・精神障害者は「母親」(39.3%)が約4割と高く、「ひとり暮らし」(33.2%)も3割以上を占めています。



2. 医療や介助の状況について

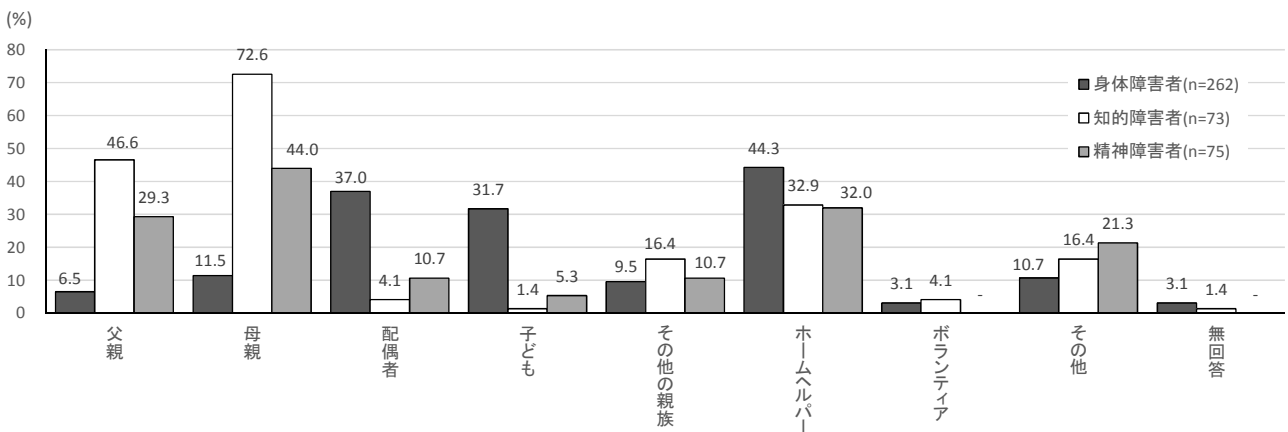
(1) 介助・支援の状況

- ・身体障害者では「調理・掃除・洗濯等の家事」(59.5%)、「食事の介助や着替え、入浴介助等」(53.1%)が半数以上となっています。
- ・知的障害者では「お金の管理」(71.2%)が7割以上となっています。
- ・精神障害者では「調理・掃除・洗濯等の家事」(73.3%)が7割以上となっています。



(2) 介助・支援をしている人

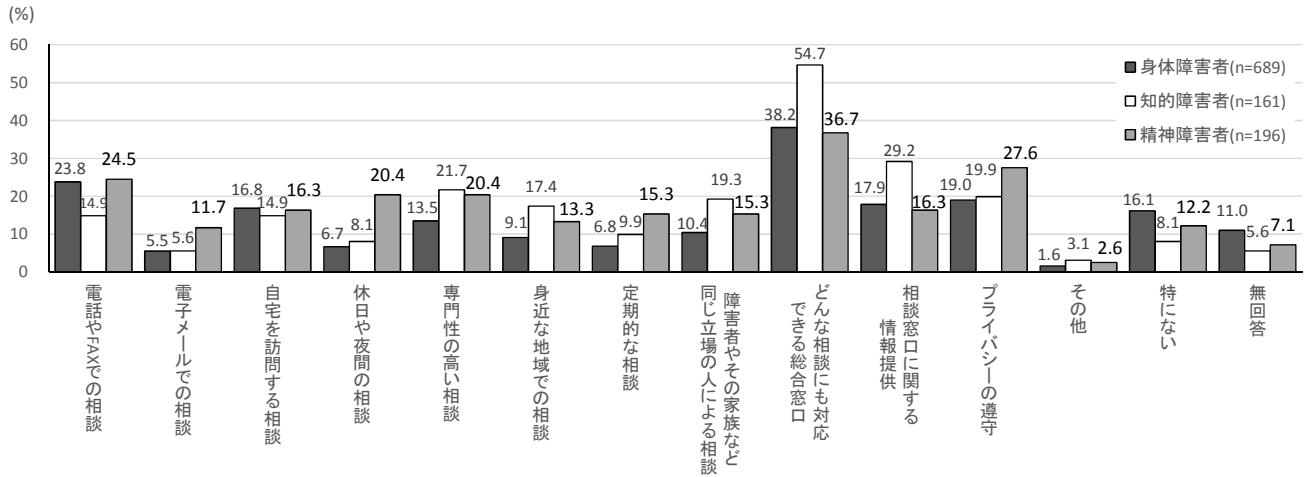
- ・身体障害者では「ホームヘルパー」(44.3%)が最も高くなっています。
- ・知的障害者、精神障害者では「母親」が最も高く、知的障害者では約7割、精神障害者では4割以上となっています。



3. 相談や福祉情報について

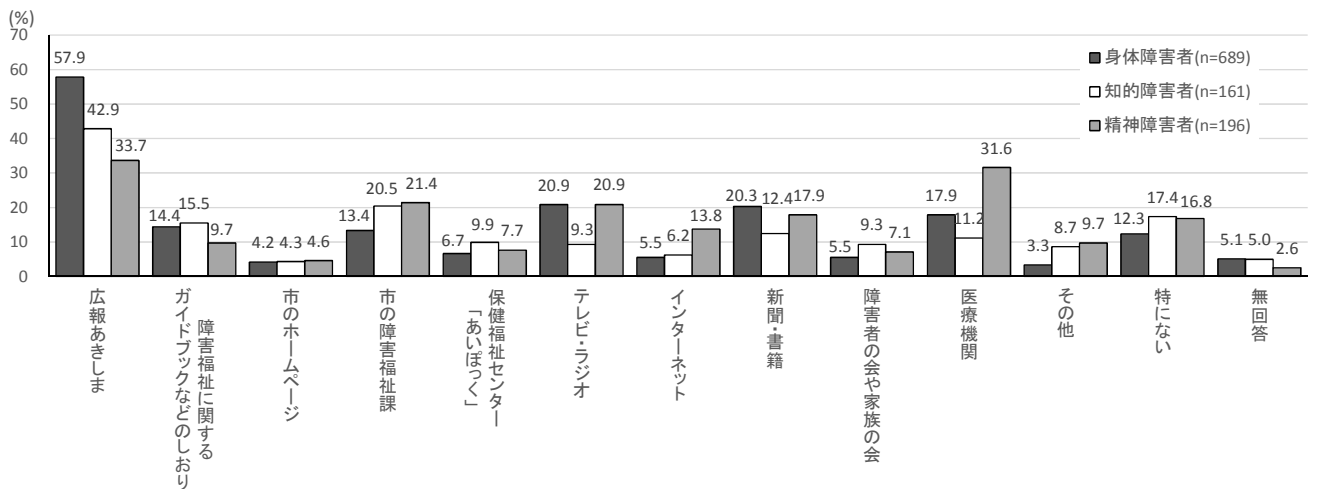
(1) 市の相談窓口に望むこと

- ・全ての障害で「どんな相談にも対応できる相談窓口」が最も高く、知的障害では5割以上となっています。



(2) 福祉に関する情報の入手方法

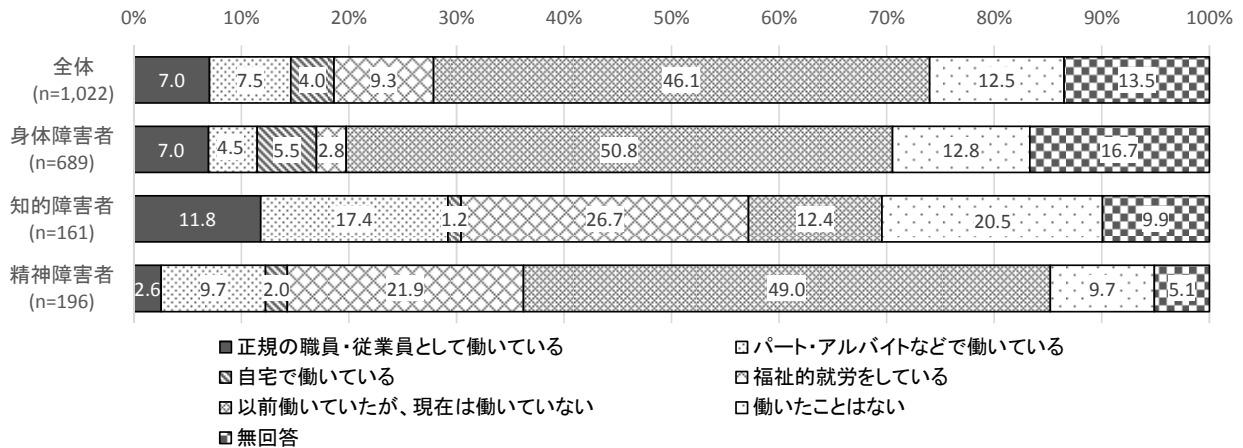
- ・全ての障害で「広報あきしま」が最も高くなっています。
- ・精神障害者では「医療機関」(31.6%)が3割以上を占めています。



4. 仕事について

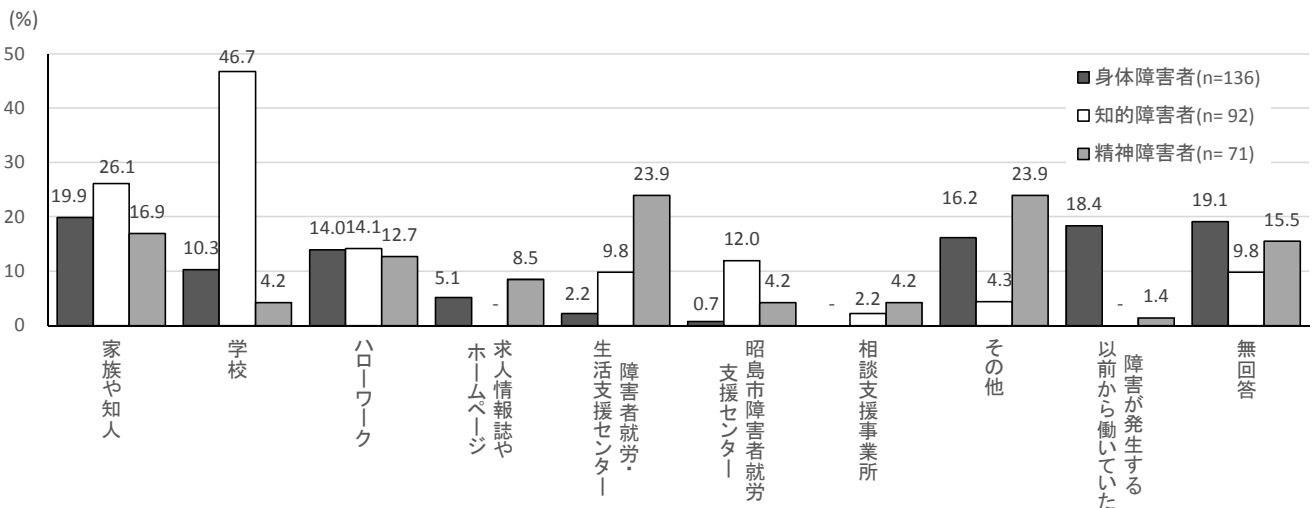
(1) 現在の就労状況

- ・身体障害者、精神障害者では「以前働いていたが、現在は働いていない」が約半数を占めています。
- ・知的障害者では「福祉的就労をしている」(26.7%)が最も高く、「パート・アルバイトなどで働いている」(17.4%)、「正規の職員・従業員として働いている」(11.8%)も他より高くなっています。
- ・精神障害者では福祉的就労をしている」(21.9%)が約2割となっています。



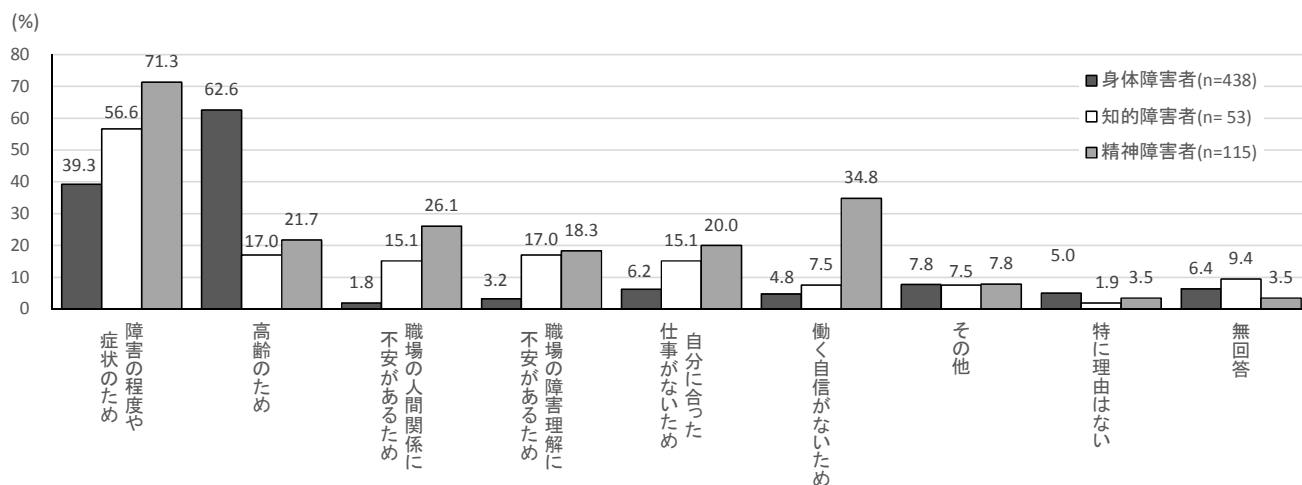
(2) 就職のきっかけ

- ・知的障害者では「学校」(46.7%)が最も高く、4割以上を占めています。
- ・身体障害者では「家族や知人」(19.9%)、「障害が発生する以前から働いていた」(18.4%)が高く、精神障害者では「障害者就労・生活支援センター」(23.9%)が高くなっています。



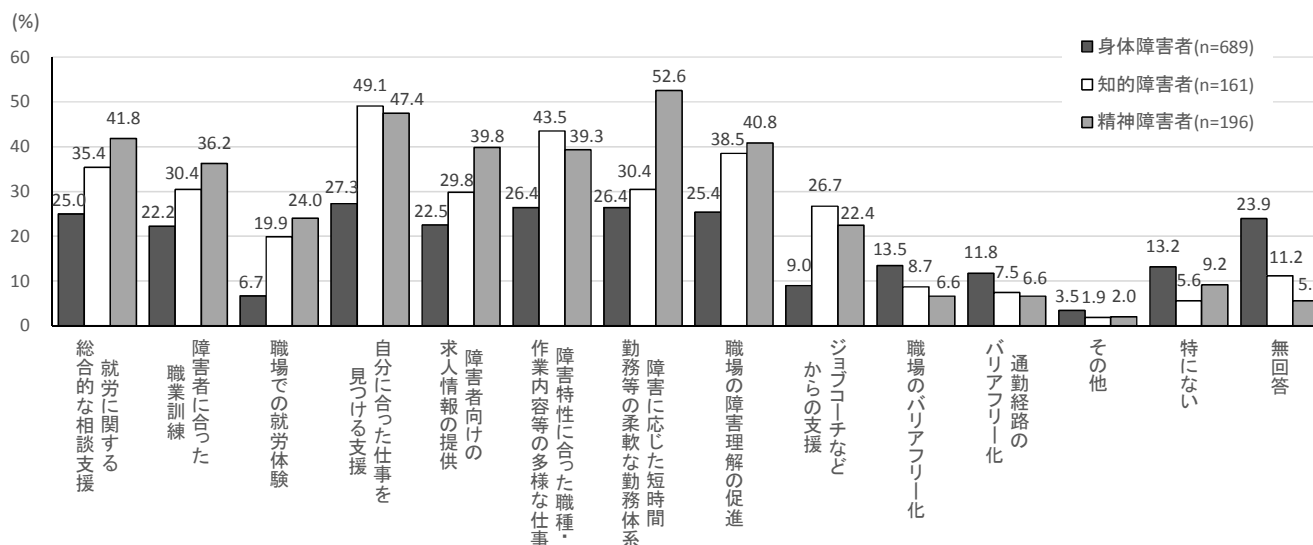
(3) 働いていない理由

- ・身体障害者では「高齢のため」(62.6%)が6割以上で最も高く、知的障害者と精神障害者では「障害の程度や症状のため」がそれぞれ半数以上を占めて高くなっています。



(4) 就労に必要な支援

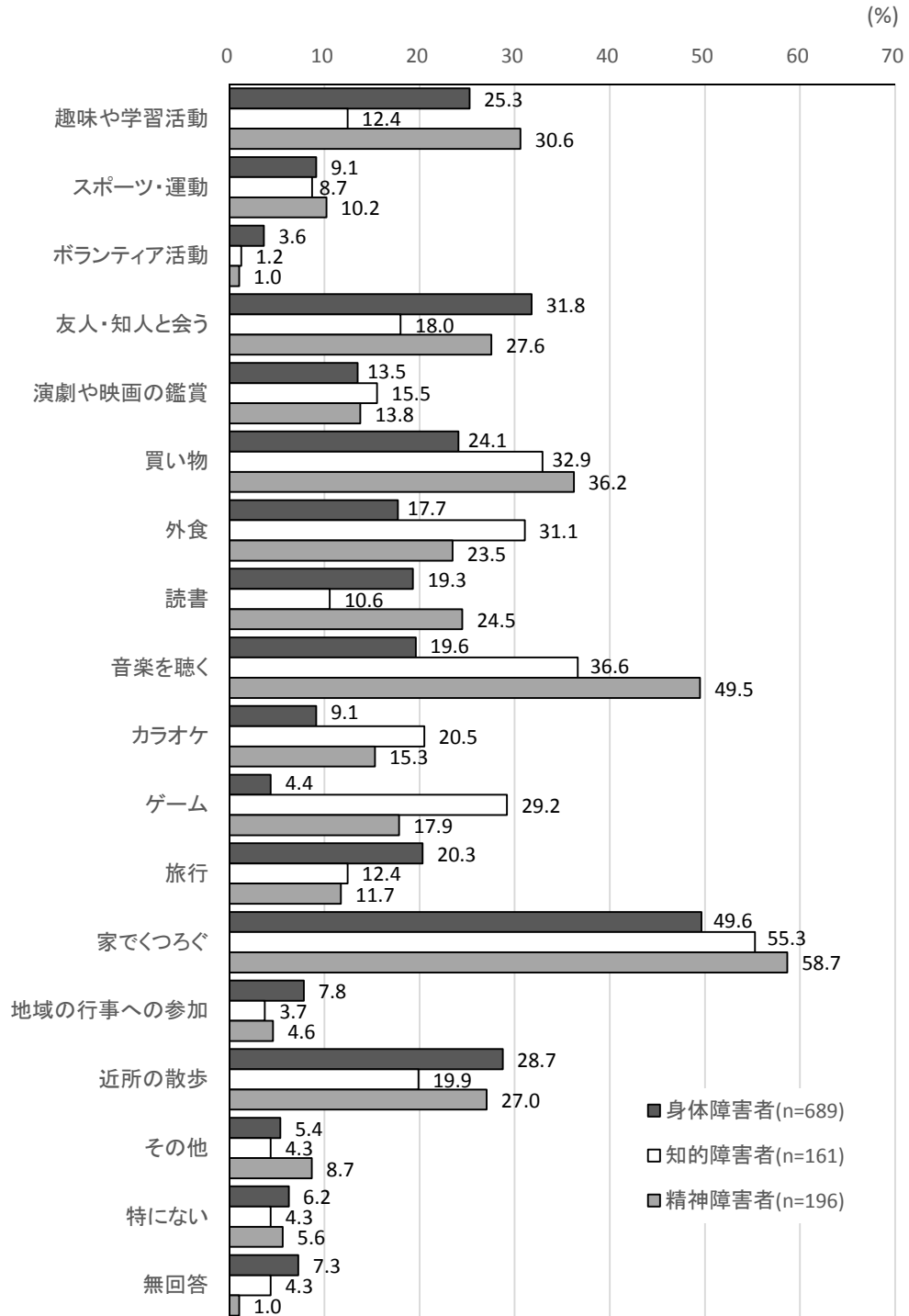
- ・知的障害者と精神障害者では「自分に合った仕事を見つける支援」が約5割を占めています。
- ・精神障害者では「障害に応じた短時間勤務等の柔軟な勤務体系」(52.6%)が5割以上と高くなっています。



5. 日中活動について

(1) 日常生活の楽しみかた

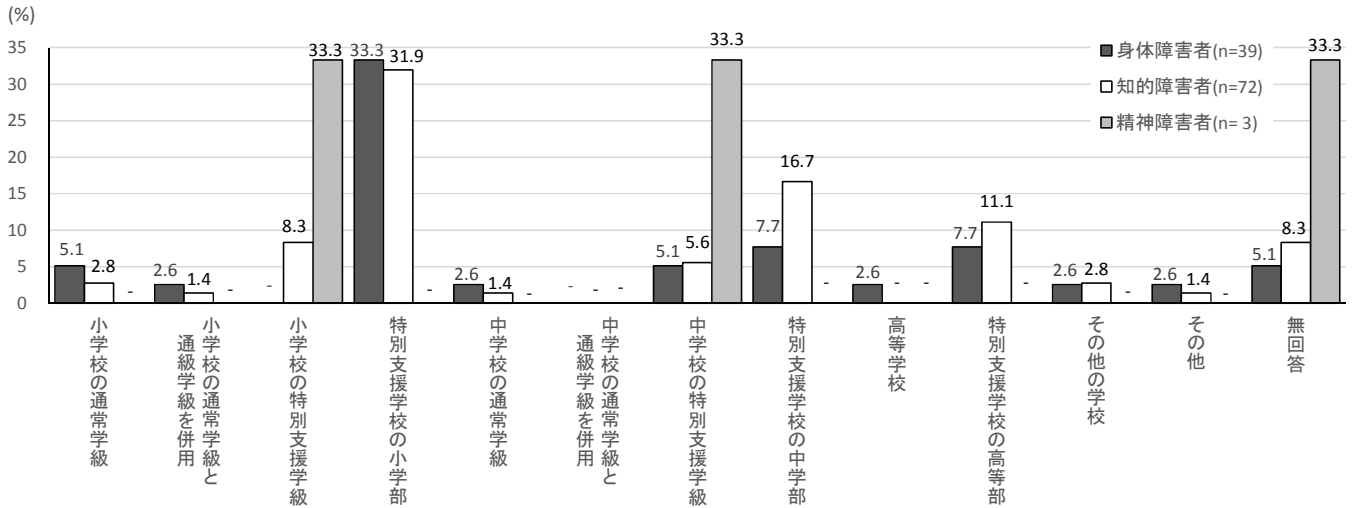
- ・全ての障害で「家でくつろぐ」が最も高くなっています。
- ・身体障害者では「友人・知人と会う」(31.8%)、知的障害者では「外出」(31.1%)、「ゲーム」(29.2%)、精神障害者では「音楽を聴く」(49.5%)が他の障害より高くなっています。



6. 保育・教育・療育について

(1) 通学の状況

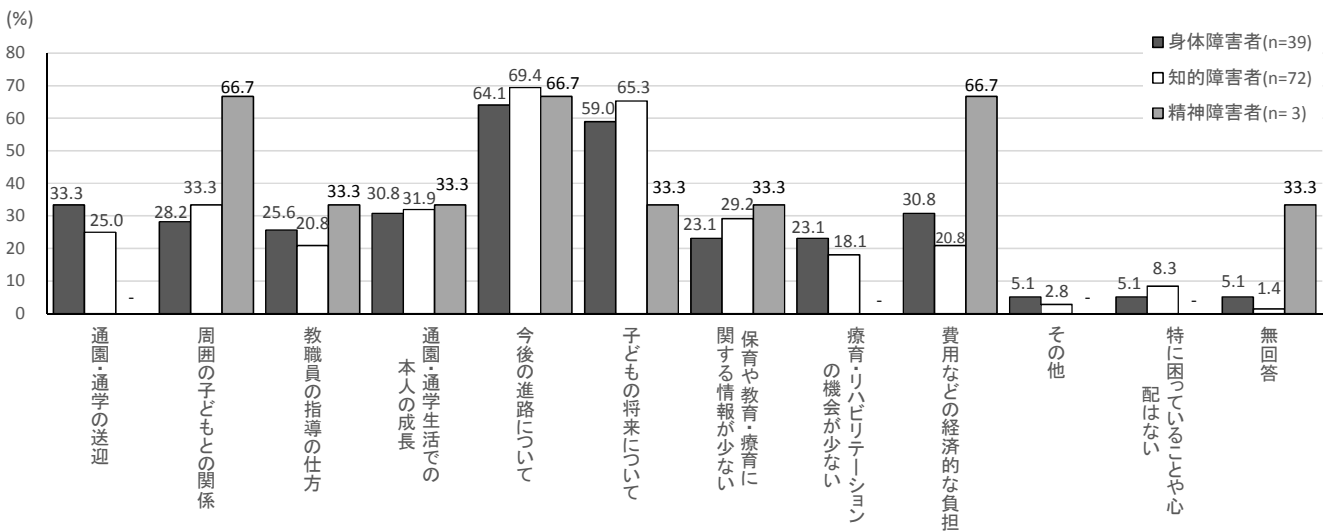
- ・小学校から高等部の全てにおいて、特別支援学校が高くなっています。



※精神障害者は参考値とします

(2) 通園・通学生活で困っていること

- ・「今後の進路について」と「子どもの将来について」がそれぞれ半数以上で高くなっています。

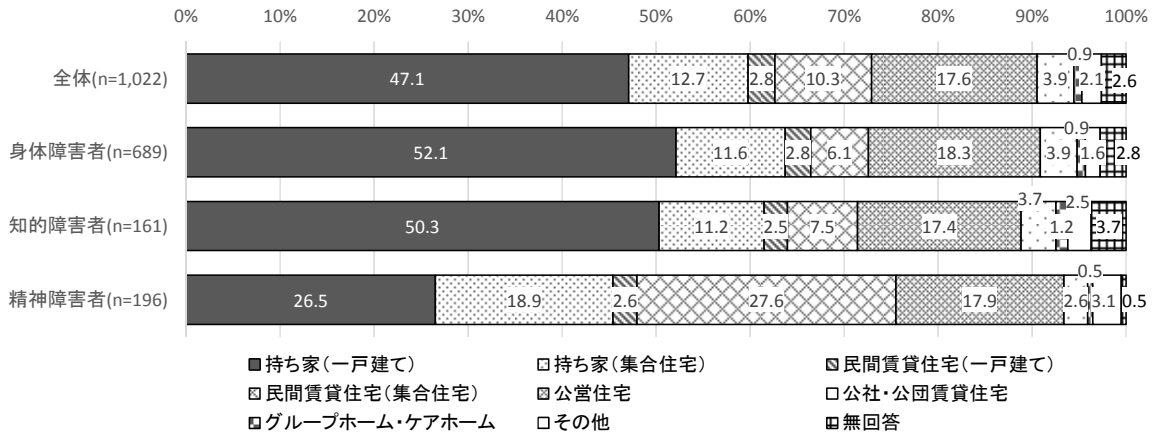


※精神障害者は参考値とします

7. 住まいについて

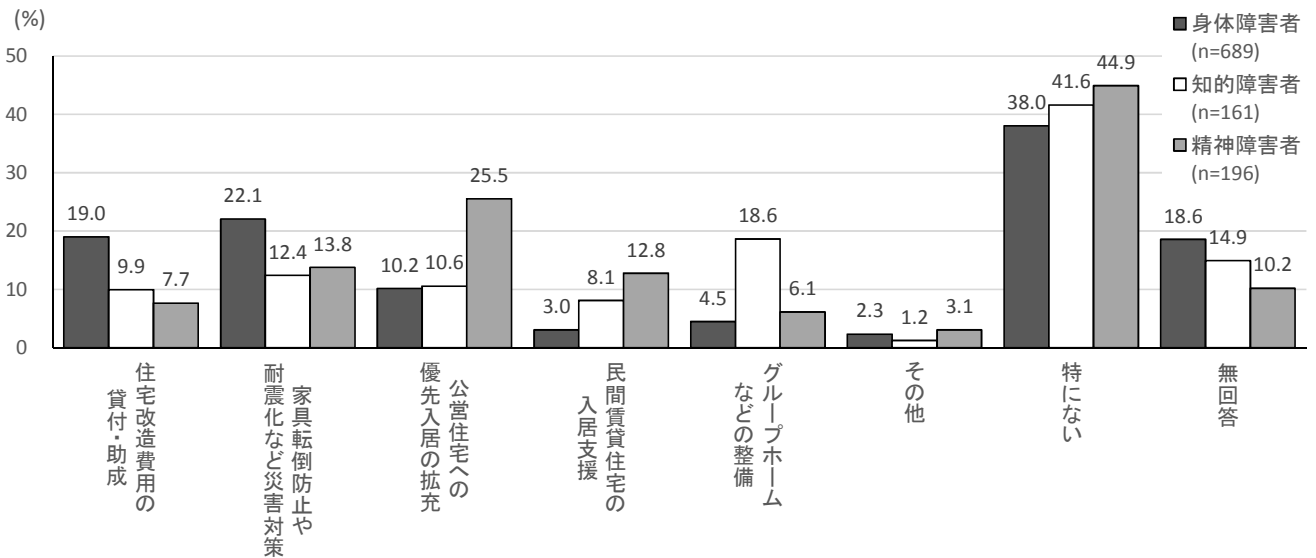
(1) 住まいの状況

- ・身体障害者と知的障害者では、「持ち家（一戸建て）」が半数以上となっています。
- ・精神障害者では「公営住宅」（27.6%）、「持ち家（一戸建て）」（26.6%）がそれぞれ高くなっています。



(2) 住まいに関する必要な支援

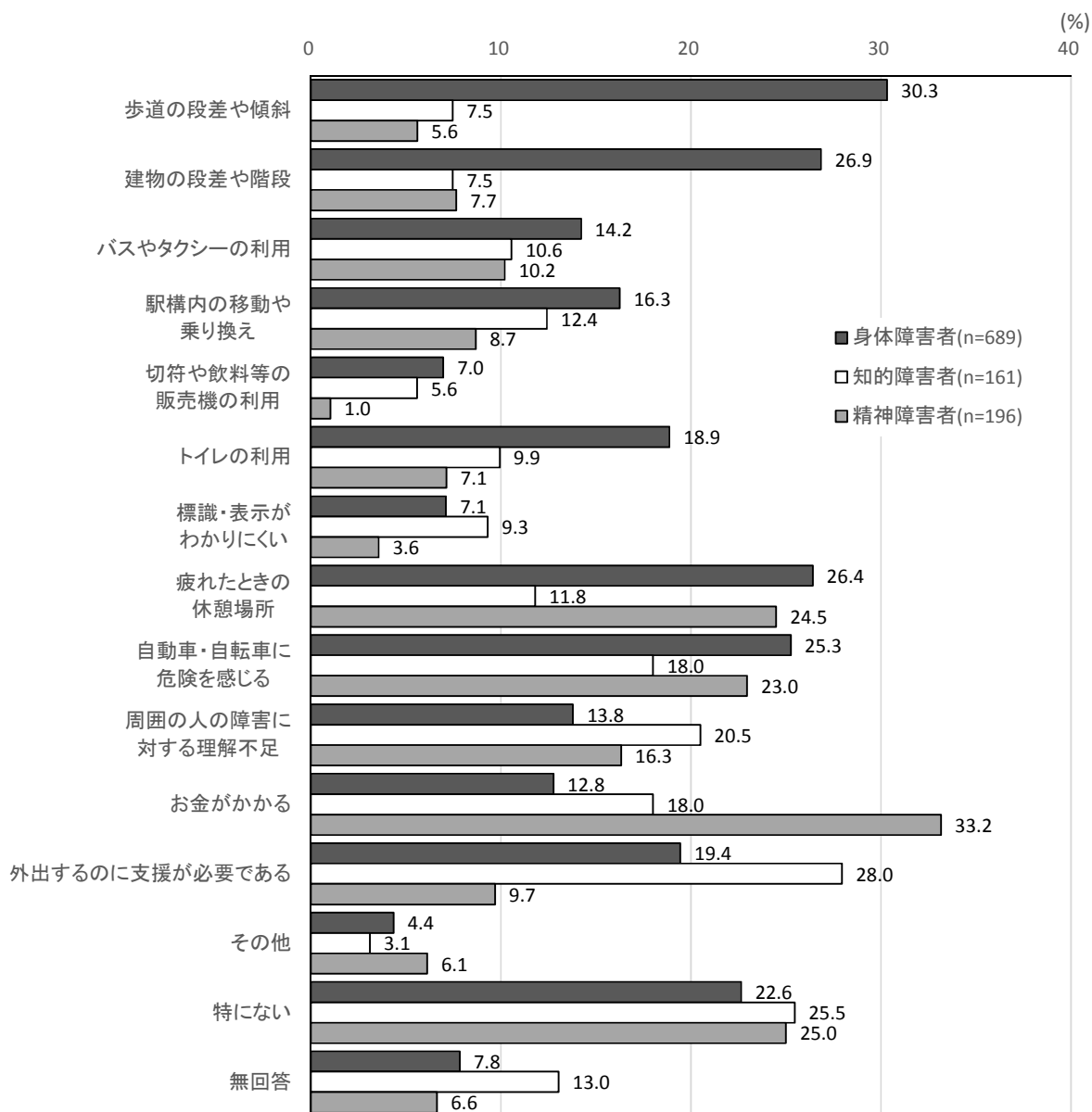
- ・全ての障害で「特にない」が最も高くなっています。
- ・身体障害者では「家具転倒防止や耐震化など災害対策」（22.1%）、知的障害者では「グループホームなどの整備」（18.6%）、精神障害者では「公営住宅への優先入居の拡充」（25.5%）が他の障害と比べて高くなっています。



8. 外出について

(1) 外出に関して困っていること

- ・身体障害者では「歩道の段差や傾斜」(30.3%)が最も高く、次いで「建物の段差や階段」(26.9%)となっています。
- ・知的障害者では「外出するのに支援が必要である」(28.0%)が最も高くなっています。
- ・精神障害者では「お金がかかる」(33.2%)が3割以上を占めて高くなっています。

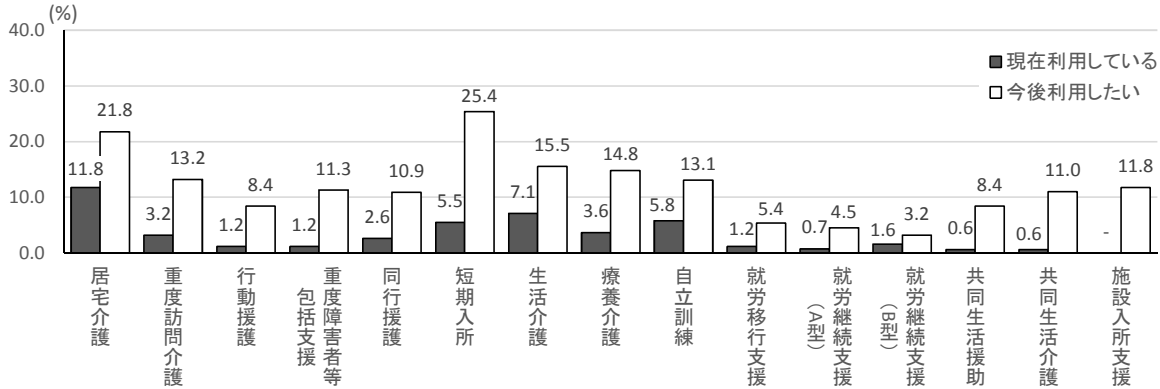


9. 福祉サービスの利用について

(1) 訪問系サービス・日中活動系サービス・居住系サービス

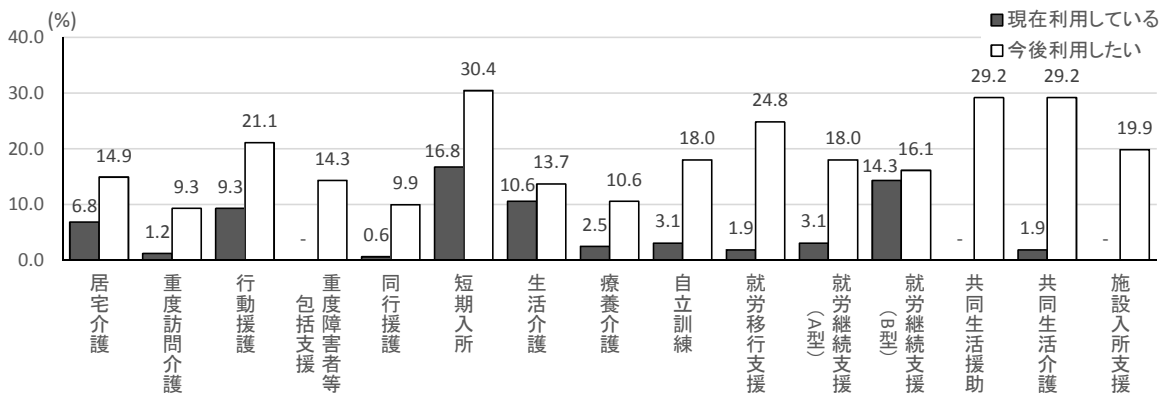
(身体障害者／n=689)

- ・現在利用しているサービスは、「居宅介護」(11.8%)が他に比べて高くなっています。
- ・今後利用したいサービスは、「短期入所」(25.4%)、「居宅介護」(21.8%)が2割以上となっています。



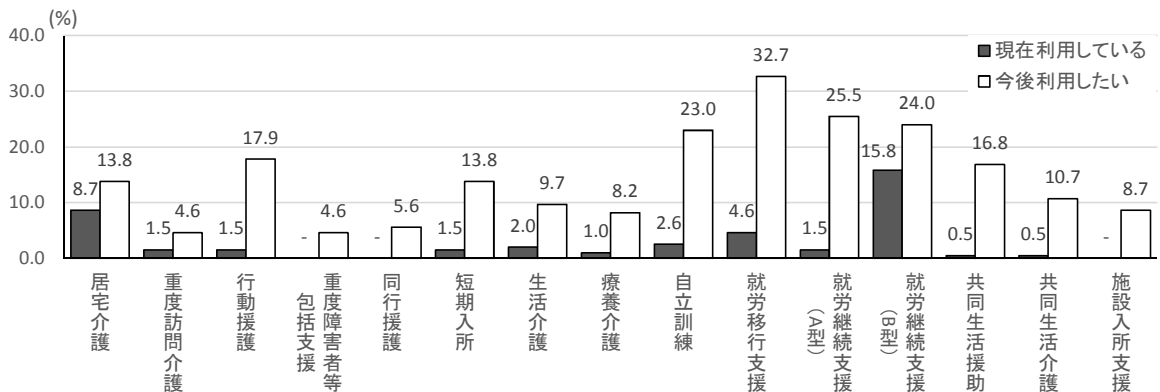
(知的障害者／n=161)

- ・現在利用しているサービスは、「短期入所」(16.8%)、「就労継続支援 (B型)」が他に比べて高くなっています。
- ・今後利用したいサービスは、「短期入所」(30.4%)、「共同生活援助」(29.2%)、「共同生活介護」(29.2%)が高くなっています。



(精神障害者／n=196)

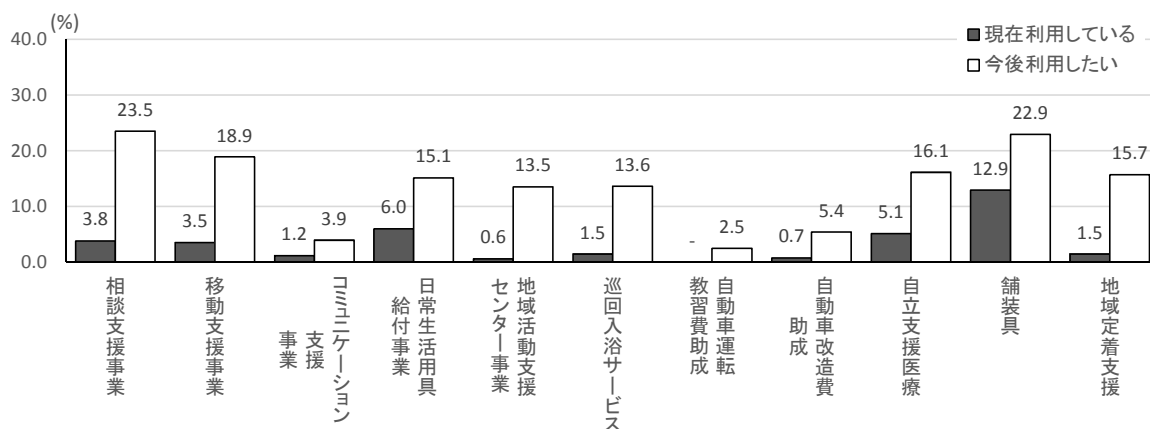
- ・現在利用しているサービスは、「就労継続支援 (B型)」が他に比べて高くなっています。
- ・今後利用したいサービスは、「就労移行支援」(32.7%)が3割を超えています。



(2) 地域生活支援事業・その他のサービス

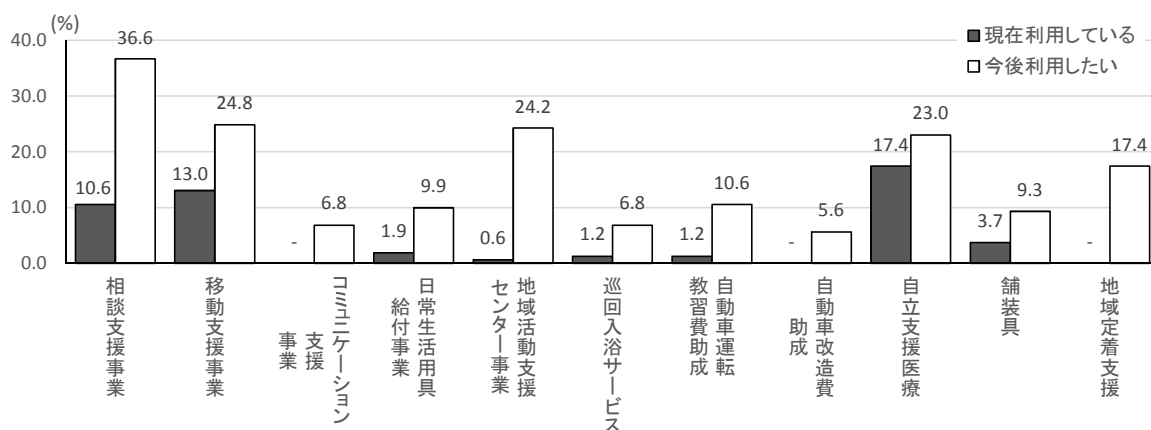
(身体障害者／n=689)

- ・現在利用しているサービスは、「舗装具」(12.9%)が他と比べて高くなっています。
- ・今後利用したいサービスは、「相談支援事業」(23.5%)、「舗装具」(22.9%)が2割以上となっています。



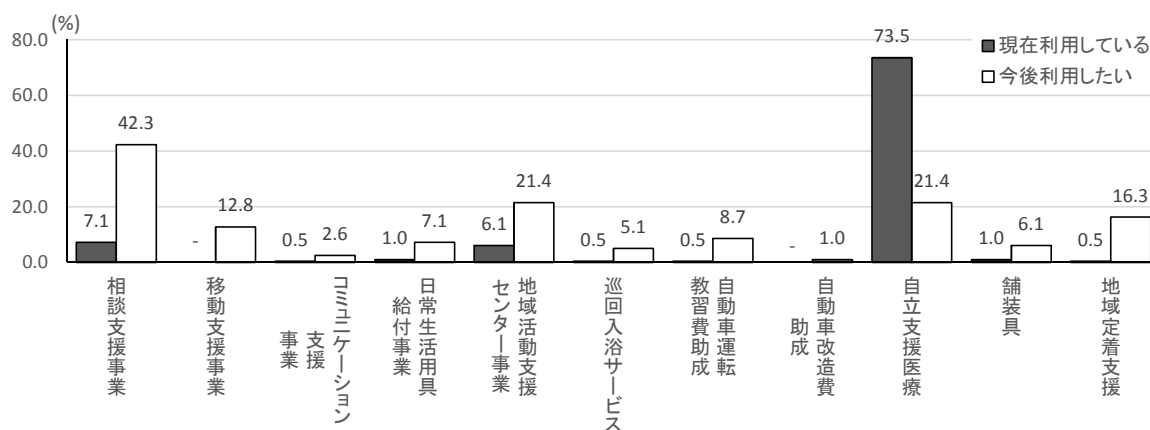
(知的障害者／n=161)

- ・現在利用しているサービスは、「自立支援医療」(17.4%)が2割近くを占めています。
- ・今後利用したいサービスは、「相談支援事業」(36.6%)が最も高く、次いで「移動支援事業」(24.8%)、「地域活動支援センター事業」(24.2%)となっています。



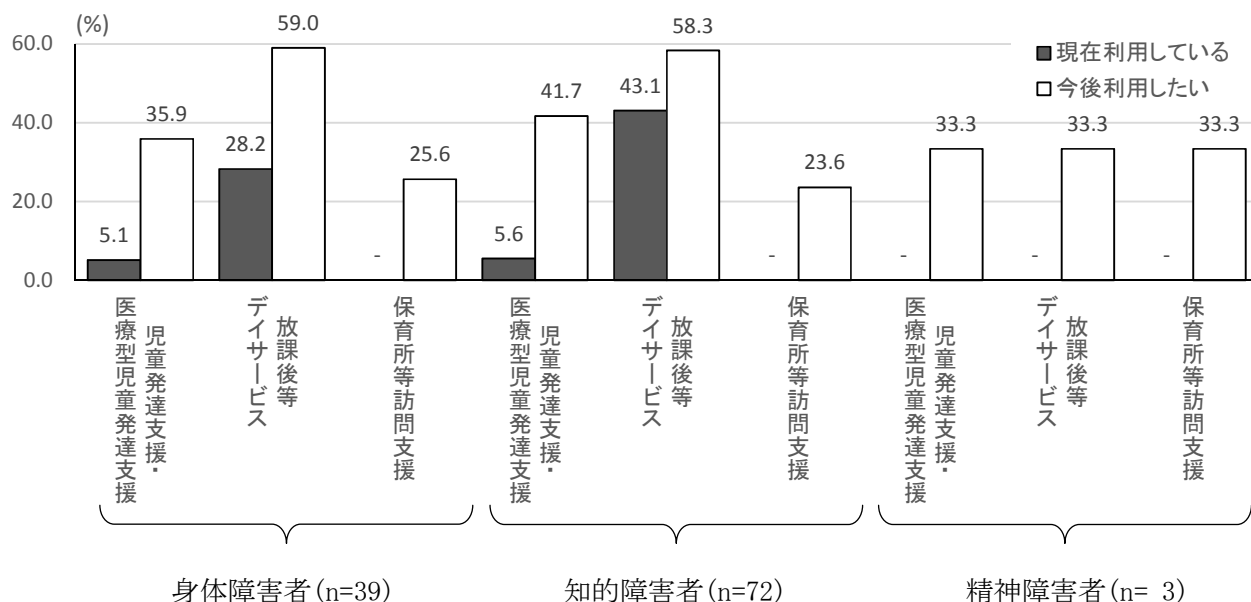
(精神障害者／n=196)

- ・現在利用しているサービスは、「自立支援医療」(73.5%)が最も高く、7割以上となっています。
- ・今後利用したいサービスは、「相談支援事業」(42.3%)が4割以上となっています。



(3) 児童に関する支援

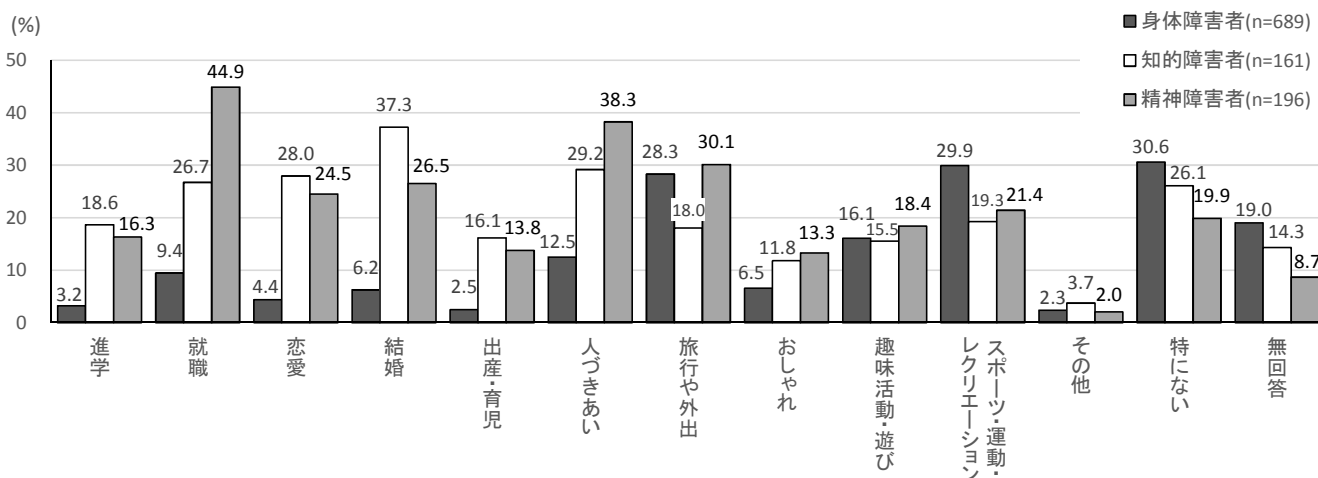
- ・現在利用しているサービスは、「放課後デイサービス」が最も高く、身体障害者で28.2%、知的障害者で43.1%となっています。
- ・今後利用したいサービスは、「放課後サイサービス」が最も高く、それぞれ約6割となっています。「児童発達支援・医療型児童発達支援」についても身体障害者で35.9%、知的障害者で41.7%となっています。



10. 社会参加について

(1) 障害があるためにあきらめたこと

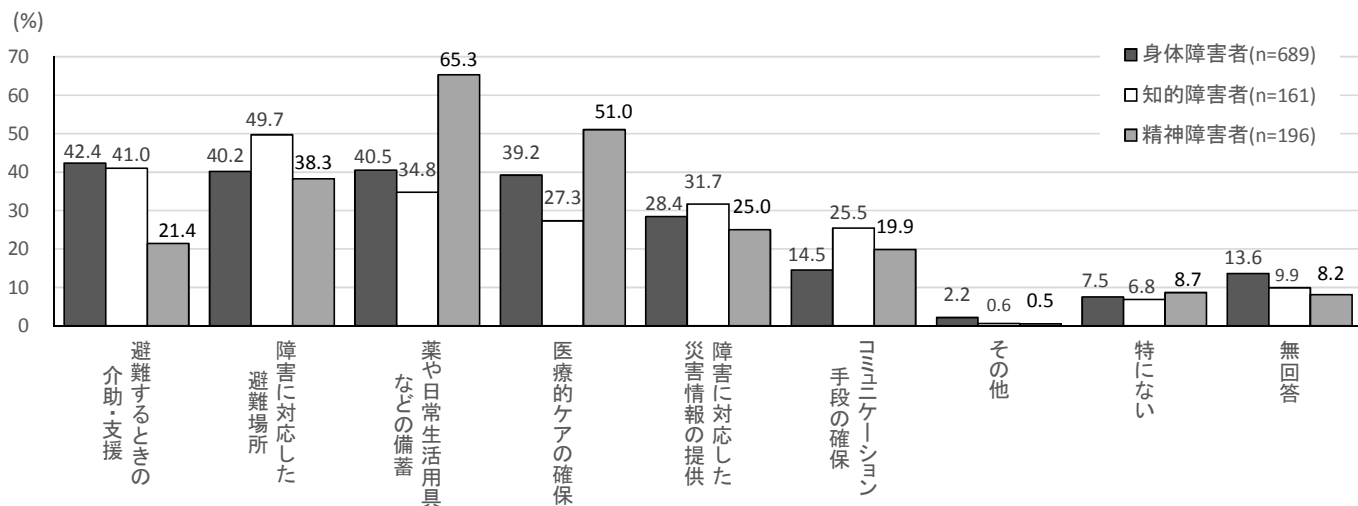
- ・身体障害者では「スポーツ・運動・レクリエーション」(29.9%)、「旅行や外出」(28.3%)が高くなっています。一方、「特にない」(30.6%)も3割以上を占めています。
- ・知的障害者では、「結婚」(37.7%)が最も高くなっています。
- ・精神障害者では、「就職」(44.9%)が4割以上、「人づきあい」(38.3%)が約4割を占めています。



11. 災害対策について

(1) 災害時に必要な支援

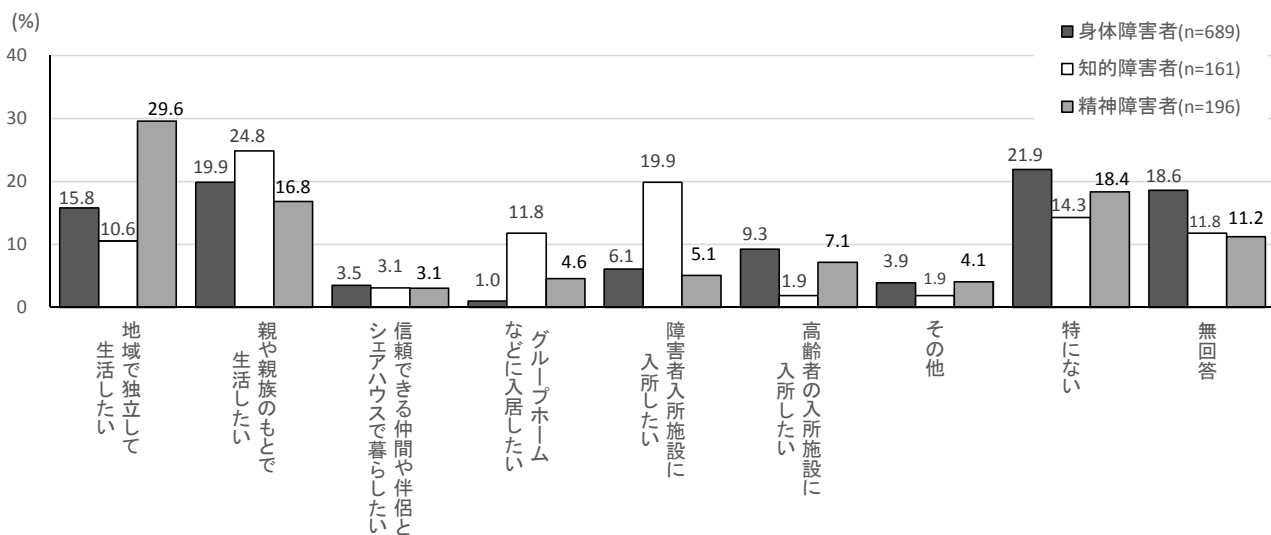
- ・知的障害者は「障害に対応した避難場所」(49.7%)が最も高くなっています。
- ・精神障害者は「薬や日常生活用具などの備蓄」(65.3%)、「医療的ケアの確保」(51.0%)が高くなっています。



12. 将来について

(1) 将来の生活について

- ・身体障害者と知的障害者では「親や親族のもとで生活したい」高くなっています。
- ・知的障害者では、「障害者施設に入所したい」(19.9%)が他と比べて高くなっています。
- ・精神障害者では、「地域で独立して生活したい」(29.6%)が約3割を占めています。



(2) 地域で生活するうえで必要な施策

- ・身体障害者では、「医療機関の充実」が最も高く、知的障害者と精神障害者では、「障害に対する理解の促進」が最も高くなっています。
- ・知的障害者では「入所施設の充実」(43.5%)、精神障害者では「経済的支援の充実」が他と比べて高くなっています。

